

## プロジェクト情報

- 国名：ネパール
- 事業名：村落振興・森林保全計画フェーズ 1 & 2 / 地方行政強化を通じた流域管理向上プロジェクト（技術協力プロジェクト）
- 協力期間：1994 年～2005 年 / 2009 年～2014 年
- 相手国機関：森林土壌保全省

## 1. ジェンダー視点から見た森林保全

男性と女性は、森林資源について異なる知識を持っていると同時に、樹木と森林の管理について異なる役割を果たしています。森林管理についての男女の役割は、社会や文化によって異なることもありますが、一般的には、女性は、伝統的なアグロ・フォレストリー（林業と畜産業を含む農業との融合）を実践して、家庭菜園を作ったり、家庭用燃料となる薪を採取したり、食料や薬になる野草を採取したり、時には家計の足しに薪や果実を集めて売ったりします。これに対して男性は、丸太を切り出して運搬するなど、より経済的に価値の高い活動に従事しています。家庭用の食料と燃料を集めるのが女性の役割である場合、森林資源の減少は、より遠くまで薪の採取に行かなければならないなど、女性により大きなマイナスの影響を与えます。森林管理に一定の役割を果たし、森林資源の減少から影響を受ける女性は、森林保全活動において大きな役割を果たすと認識されてきています。

## 2. プロジェクトの概要・背景

ネパールでは、人口の約半数が山間地域に住んでおり、急峻な地形による斜面崩壊や農地の土砂流出が生産性の低下をもたらしています。また、これらの住民の多くが貧困層で、貧困を背景とする森林の無計画な伐採なども土砂流出に拍車をかけています。

そのような状況の下、「村落振興・森林保全計画フェーズ 1 & 2」により、住民と行政が自立的に村落振興・森林保全に取り組む「SABIHAA モデル」\*が形成され、「地方行政強化を通じた流域管理向上プロジェクト」では、その普及を後押ししました。SABIHAA モデルは、森林保全に取り組む際、森や水源等の村の資源の管理やコミュニティ開発の全ての段階に住民たちが参加することを促進する仕組みで、土砂崩れ防止、水源保護や歩道整備など土壌保全活動を含む村づくりを取り入れて、貧しい住民たちが森の再生に興味を持てるようにしました。かねてからネパール政府によって他の地域への普及が進められていた SABIHAA モデルは、森林土壌保全省の戦略として正式に取り上げられ、2014 年度には普及のための予算も確保されました。

\*SABIHAA（サビハ）とは、Samudayik Bikas Tatha Hariyali Ayojana（ネパール語で村落振興・森林保全の意）というプロジェクトの通称の頭文字を取った名称。

## 3. ジェンダー視点に立った取り組み

プロジェクト対象地域においても、森林の日常的な利用者は女性でしたが、女性、特に貧困層や被差別カーストの女性が住民たちの活動に参加すること、ましてや発

言し意思決定に参加することは非常に困難なことでした。そこで、当初は、女性たちがプロジェクトの活動に参加する機会を確保するために、女性のための識字教室の実施や住民グループの半分以上を女性とする規則の制定等が行われました。しかし、女性たちが住民グループの会合で発言するなどの積極的な参加までには至らず、女性たちのプロジェクト活動への積極的な参加を目指して、以下のような活動が実施されました。

## (1) POWER プログラム

女性による地元の資源を活用した生計向上活動の実施のために組織された POWER（Poor, Occupational caste, Women's Empowerment for Resource Management）グループは、貧困層や被差別カーストの女性を優先して構成された最大 30 名の集落レベルの住民グループです。POWER グループは、プロジェクトから資金援助を受け、畜産（山羊、家禽、豚等）や栽培（野菜、生姜、カルダモン、果樹等）等の生計向上活動を実施しました。



POWER グループ対象の養蜂研修

POWER グループの活動を通じて、女性たちは生計向上手段を得ると同時に、コミュニティ活動について発言できるようになりました。また、グループでは、自分たちで働きかけてプロジェクト外から支援も取り付けることもできるようになりました。

この活動を通して女性たちは自信と社会的な力を身に付け、集落の会議にも男性と共に積極的に参加するようになりました。  
ーティル・クマリ・タパ（POWER グループ代表）

## (2) 集落委員会

SABIHAA モデルの中心となるのが、POWER グループの上位に位置する住民グループである集落委員会です。集落委員会は、コミュニティの意思決定機関であり、村の課題を発掘し、課題に対応した活動の実施から事後評価までの工程を主体的に進めます。集落委員会は概ね男女 9 名のメンバーのうち、3 分の 1 以上を女性、2 名を POWER グループより選出することで、女性たちの声が反映される仕組みができています。

## (3) 活動を支援するための研修

POWER グループの活動を効果的に支援するために、地方行政官などを対象に「ジェンダー・社会的包摂及び紛争に配慮した開発研修」を実施しました。

ジェンダー視点に立った取り組みにより、SABIHAA モデルは、住民が男女共に参加する、効果的な森林保全活動のモデルとなりました。その普及により、さらに広くネパールの森林保全に貢献することが期待されます。